

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	コンビニ（経営者）	・店舗リニューアルの実施により、良くなる。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・一般宴会に関しては新年会のキャンセルが落ち着き、これ以上のキャンセルはないとみている。客室のキャンセルも一段落し、逆に能登半島地震関連で、保険会社の調査関係者の宿泊予約が入ったりしている。今以上にマイナスになることはない。
	◎	観光名所（職員）	・旅行会社の企画旅行が増えて、新型コロナウイルス感染症発生前に匹敵する設定数になっている。春からの予約や問合せが増えてきている。
	◎	ゴルフ場（経営者）	・企業の資産価値が増えた分を、しっかり給料として分配すれば消費はより活性化すると考える。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・今月は特に、戒名を付ける依頼が大変多かった。良い僧侶に依頼ができて、2万円で戒名を付けてもらえるため、好評である。
	○	百貨店（店長）	・今月は能登半島地震の影響もあり、年間最大の売上となる初売りは顧客の来店が少なく、大きく売上を落としてしまっている。2～3か月先には元に戻せるのではないかと。
	○	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス感染症も落ち着き、北陸地方の能登半島地震の影響は気になるものの、募金活動を通じて、店頭で貢献したい。新規注文も増えてきて、前年末から、パートを2人採用した。近所に住んでいる年配の女性で、繁忙時期だけ来てもらえるため、助かっている。配達担当も募集しているところである。
	○	コンビニ（エリア担当）	・エネルギー価格は、若干高騰が収まってきたため、やや良くなる。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・暖冬傾向にあるため、春の商戦前倒しによる来客数の増加が予想される。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・一般的な需要はそれほど増えないと思うが、インバウンドを中心とした高額商材が少し伸びつつある。円安の効果なのかは分からないが、インバウンド向けの宿泊関連の需要が伸びている。これらが中心となり、関東、首都圏の居酒屋、飲食店の売上も伸びているようなので、堅調に推移するのではないかと。
	○	高級レストラン（経営者）	・年度末に向かい、歓送迎会や卒業、入学祝い等で、客足も戻るとみられる。
	○	一般レストラン（経営者）	・とにかく、新年からいろいろなことがあり過ぎて、1月は人の出入りも少なく、ひどいスタートになってしまった。今後は何事もないことを祈る。経済は少しずつ回復していく。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・天災による悪化であるため、徐々に今よりは良い方向へ進んでいくのではないかと。復興とともに景気も回復してほしい。能登半島地震発生前の予約状況は良くも悪くもなかったが、確実に予約は鈍化した。ただし、支援策等が実施されるようなので、良い方向に向かう期待を持てる状況ではある。
	○	遊園地（職員）	・学校のスケート教室受入れや、パブリシティの獲得、多様なイベントの開催等、積極的な集客施策の実施や情報発信を行い、来園客の増加を期待する。
	○	住宅販売会社（経営者）	・大きな災害が発生すると、セカンドハウスとしての別荘需要が高まる傾向にあるため、やや良くなる。
□	商店街（代表者）	・新しい動きは今のところ全くない。また、既存店でも撤退をするようなところが多い現状のため、上向くとはとても思えない。	
□	商店街（代表者）	・給料も幾らか上がっているという話であるが、それ以上に食品の値上げが大きいと、当店のようスポーツ用品店に回ってくるお金は少ないのではないかと。	
□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・賃上げの話がちらほらと聞こえてくるが、それは大手の話で、中小や下請企業に反映されることは少なそうである。物価だけがどんどん値上がりしていくなかで、ますます財布のひもは固くなりそうである。	

□	百貨店（営業担当）	・世間では賃上げムードになっているが、中小企業も含めた全体が上がるのであれば、良い方向に向かうと思うが、それぞれ個々の会社の事情によって変わると思うので、全てが上向くかどうかは何ともいえない。
□	スーパー（経営者）	・賃上げに期待している。
□	スーパー（店長）	・年度初めまでは、賃金関係の変化が出てこないと思うので、購入に関しては、かなり引き締めた状況が続く。
□	コンビニ（経営者）	・当店は道路沿いの立地だが、それほど通行量が多くない。地元客が中心のため、なかなか来客数も伸びず、売上の的には変わらない。
□	コンビニ（経営者）	・1月は能登半島地震の1日を除けば、前年と同じ動きをしているようにみえる。前年より気温が高い分、もっと売上が良くてもよいはずだが、物価高で客も注意して買物していて、例えば、日配品よりも割安の冷凍食品やカップ麺を選ぶといった動きがある。ただし、それでも買物はしているので、このまま前年と同じ動きで変わらない。
□	コンビニ（経営者）	・ここ3か月はそれほど変化がなかったため、このままの状態ではないか。ただし、世の中の状況次第では悪くなると思う。
□	コンビニ（店長）	・当店は食品が中心で、日常生活に密着している。抑え気味ではあるが、ふだんと変わらない形で推移するのではないか。
□	衣料品専門店（経営者）	・変わらないとしかいいようがない。本当のところは分からない。
□	家電量販店（店長）	・景気が良い話を聞かないため、変わらない。
□	一般レストラン（経営者）	・例年、天候の変化が影響をもたらすという意味で、変わらない。特に、景気が上昇しそうな様子はない。
□	スナック（経営者）	・1月に入って急に落ち込んでいるが、原因が分からないため、今後がどうなるかも分からない。一時的なものであればと思っている。
□	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、これ以上悪くならないように変わないでほしいという意味である。とにかく楽観は許されない状態で、景気自体は悪い。
□	観光型旅館（経営者）	・今年は暖冬で雪が少なく、客の動きが割と良いようである。春も早めに暖かくなりそうで、春休みに合わせた旅行に期待ができるのではないか。そうはいつても、新型コロナウイルス感染症発生以降、団体客が少ないため、現状維持がやっとだと考えている。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・1か月前に回答したときと、2～3か月後の予約数に、ほとんど変化がみられない。
□	旅行代理店（副支店長）	・物価高や円安の影響に加え、能登半島地震もあり、客足が鈍くなっている。客の旅行意欲も薄れてきている気配があり、来客数も減少している。景気は徐々に下向きになると考える。
□	タクシー運転手	・夜の動きがまだまだである。金曜の夜だけは、まずまずの動きをしているが、他の曜日の夜の動きが少ない。また、夜間の乗務員が間に合わないという日がある。
□	通信会社（社員）	・サービス提供エリアの新規開局は、まだしばらく時間が掛かりそうである。当面は集合住宅の入替え業務が中心になる。
□	通信会社（社員）	・明るい兆しが見えてこない。
□	ゴルフ場（副支配人）	・原材料の価格高騰や周辺コースの状況に変化がみられないため、変わらない。
□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・来客数はそれほど大きく増えていないが、前年値上げをした影響で、売上は増えている。
□	設計事務所（職員）	・仕事の依頼はあるものの、特に多いということはない。
▲	商店街（代表者）	・過去の災害の教訓から、行動自粛が続くとみている。桜が咲く頃までに回復してくれればと祈るのみである。
▲	百貨店（経理担当）	・しばらくは能登半島地震の影響は少なからずあると思う。ただし、バレンタイン商戦は好調にスタートしている。今後は復興の影響が、百貨店にどう影響してくるか、不安材料が残る。
▲	乗用車販売店（経営者）	・受注残が解消され、新車の販売台数は減少に転じると予想している。

	▲	スナック（経営者）	・この時期は、天候によって来客数がかなり変動する傾向にある。降雪等により足元が悪かったりすると、一気に来客数が減ったりするので、3月くらいまでは厳しい状況が続く。
	×	—	—
企業 動向 関連	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体需要が回復し、良くなる。
(甲信越)	○	金融業（経営企画担当）	・総合的には賃上げの影響等により、景気は上向くと考えている。
	□	食料品製造業（営業統括）	・工場見学者数が減少している。諸物価の上昇で、一般消費者の消費意欲が減退しており、しばらく買い控えが続く。
	□	食料品製造業（総務担当）	・販売先の状況は、余り変わっていない。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・新製品の展開に期待感がある一方、冬季の観光客減少により、ワークショップ予約数等は減っている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・新生活に向けた一定の需要は見込まれるものの、耐久消費財への支出が抑えられる傾向は継続する。
	□	電気機械器具製造業（従業員）	・電線は相変わらず仕入れが困難な状況となっており、部品の納期遅延も続いている。
	□	建設業（経営者）	・期待していたものの、予想以上に受注が伸びていない。
	□	金融業（調査担当）	・製造業、非製造業共に現状同様の動きが続くとみられる。今後は能登半島地震の影響が次第に明らかになるとともに、復興需要やそれに伴う人手不足等への影響が予想される。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・依然として、日用品を中心に物価上昇傾向であり、中小企業では賃金はさほど上昇していない。顧客からは節約傾向が強くなるか見え、チラシ出稿企業でも、チラシサイズの縮小や折込枚数の減少がみられる。
	▲	食料品製造業（製造担当）	・今年も最低賃金の上昇の話が出ているが、零細企業にとっては、非常に厳しい。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・活気付いた案件が余りなく、電子部品の入荷遅延による生産時期のずれが目立っている。
	▲	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・各種経費が上がっているなか定期昇給の時期を迎えるが、大幅な昇給は難しい。物価上昇中でぜいたく品であるジュエリーの販売はますます難しくなっている。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連	◎	—	—
(甲信越)	○	*	*
	□	人材派遣会社（営業担当）	・購買意欲がないばかりではなく、各個人の将来がみえなくなっているのではないかと。全く進歩がないだろう。
	□	求人情報製作会社（総務担当）	・1年近く変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・製造業においては、中国などの海外景気の減速やIT関連需要の弱い動きが続いている。また、非製造業ではインバウンドや国内客の増加が期待できるものの、人手不足の影響等が懸念されることから、変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・12月までの数か月は、新規求人及び新規求職者は減少していたものの、有効求人倍率は上昇しており、人手不足感が継続している。
	□	職業安定所（職員）	・これから労働力の流動期となるが、中長期的に好転すると判断できる要因が見当たらない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・円安が良い方向に向かわないと、輸出産業以外は元気がなくなる。燃料費の価格高騰が消費に大きく影響している。
	▲	—	—
	×	—	—